

## たむら菜の花の里フォトコンテスト受賞作品展示の開催

- 実施日・場所：第1回：平成20年10月25日（土）、26日（日） 「JAたむら大感謝祭」特別ブース  
第2回：平成20年11月1日（土）、2日（日） 「第2回三春秋まつり2008」写真展示スペース  
第3回：平成20年11月22日（土）～12月7日（日） 「小野町ふるさと文化の館」

○実施主体：たむら菜の花循環の里づくり連絡協議会

○対象者：一般県民

○取組内容

JAたむらでは、遊休農地解消と農村景観保全のため、「菜の花でつくるなつかしいふるさと」をテーマに、平成19年度から「JAたむら菜の花プロジェクト」を実施しています。その取組みを支援するため、今年度から過疎・中山間地域連携事業として、県中地方振興局と県中農林事務所が主体となって「菜の花循環の里づくり支援事業」を実施し、なたねの生産拡大支援と廃食油利活用の資源循環システムの検討を行っています。

本年4月には、JA、関係市町、県等で組織する「たむら菜の花循環の里づくり連絡協議会」を設立し、菜の花プロジェクトの普及啓発活動やなたね生産拡大の支援等を行っています。この取組みの一環として、田村地域の「菜の花のある風景」をテーマに、「たむら菜の花の里フォトコンテスト」を実施したところ、県内外より76名の方から181点の応募がありました。厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞3点、佳作10点を決定しました。

今年初めて収穫されたなたねは、「たむらの菜種油」としてJAたむらで商品化し、7月末から直売所で販売開始したところ、大変好評を得ています。なお、この商品ラベルには、フォトコンテストの最優秀賞作品「訪春」（白河市 薄井光雄氏撮影）が採用されています。

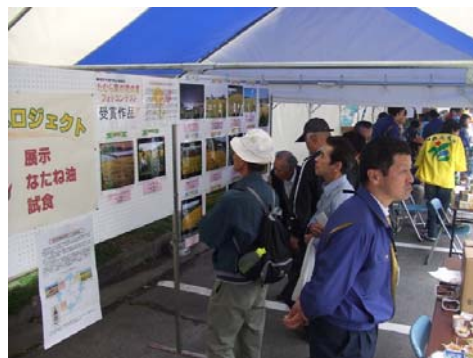
この「菜の花プロジェクト」の取組みをより多くの方に知っていただくことを目的に、田村地域の各種イベント等の機会を活用し、受賞作品16点を展示しました。会場では、「なつかしいふるさと」の風景を楽しむ人、写真の出来映えを堪能する人など、多くの来場者で賑わうシーンも見られました。今後も機会を設け、写真の展示を行う予定です。



たむら菜の花の里フォトコンテスト  
最優秀賞「訪春」  
（白河市 薄井光雄氏撮影）



たむらの菜種油



JAたむら大感謝祭特設ブース内



小野町ふるさと文化の館内